

# 公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金 事業報告書

(自2020年4月1日至2021年3月31日)

## 1. 事業の概要

### (1) 2020年度の事業概況

第12期の2020年度は、事業として大学講座寄付7件、実施金額108,000千円と、奨学金支給184名、実施金額40,087千円余、学術・研究助成20件、実施金額31,200千円の、総額179,287千円余の助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	7件	108,000千円
(ロ) 奨学金支給	184名	40,087千円余
(ハ) 学術・研究助成	20件	31,200千円
合 計		179,287千円余

### (2) 2020年度収支決算

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業(株)から185,018千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金1,018千円余を含む)、住友電設(株)から99千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金)の計185,117千円余の寄付を受けました。これに基本財産運用収入15,782千円余を加え、収入合計は予算対比1,122千円余増の200,900千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出はほぼ当初計画通りに実施しましたが、国内学生向け奨学金において、奨学生が当初計画した20名から4名減となったこと、海外奨学金の為替変動による支出減などから、予算対比1,812千円余減の180,487千円余となりました。管理費支出は、新型コロナウイルスの感染拡大により贈呈式典や奨学生の面接・交流会をオンライン開催としたことから、会議費、旅費交通費が大幅に減少しました。管理費合計では予算対比4,820千円余減の14,764千円余となり、事業活動支出合計は予算対比6,633千円余減の195,251千円余となりました。

投資活動収支については、国債の満期償還による収入401,050千円を20年利付国債(額面403,750千円、購入高401,173千円余)への再投資に充当した結果、投資活動収支差額は予算対比123千円余のマイナスとなりました。

以上の結果、当期収支差額は5,525千円余の黒字となり、前期繰越収支差額8,912千円余を加えた14,438千円余を次期に繰り越しました。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,000千円で変動ございません。

### (3) 2020年度事業

2020年3月6日開催の第54回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

#### (イ) 大学講座寄付

エネルギー・新素材・情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球温暖化・環境保全等現代の諸問題解決にむけた研究、ものづくりや起業家（アントレプレナー）をはじめとした次世代を担う人材の育成に取り組む、産業社会の発展に資する優れた大学講座に対し寄付を行うもので、継続案件6件に加え、新規の大学講座1件を選考し、合計7件、総額108,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額（千円）
北海道大学 大学院医学研究科	糖鎖生物学的アプローチによる各種疾患の病態解明とその臨床応用	18,000
山形大学	アジアの水・食・健康リスク講座	15,000
神戸大学 バイオシグナル総合研究センター	肝転移の早期診断が可能な新規がんバイオマーカー開発講座	15,000
筑波大学 生命環境系	ダークマター微生物資源利用・生物化学工学講座	5,000
愛媛大学 大学院理工学研究科	生態学的アプローチによる東南アジアの蚊媒介感染症の制御	15,000
信州大学 医学部医学科	IoTを活用した心臓リハビリテーションのための在宅・遠隔型個別運動処方システムの開発	20,000
名古屋大学* 未来社会創造機構 ナノライフシステム研究所	難治性がん根治に向けた量子ナノがん光免疫療法（QPIT）の開発と臨床応用	20,000
合 計		108,000

\*新規案件

## (ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、国内学生及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、2020年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

	奨学生	実施額(千円)	実施時期		
国内大学の 外国人留学生 [10万円/月]	継続 9名 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、早稲田大学1	9,600 <sup>*1</sup>	2020年4月～ 2021年3月		
	新規 9名 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、早稲田大学1	10,800	2020年4月～ 2021年3月		
	計 18名	21,400			
国内大学の国内 学生(修士課程) [3万円/月]	継続 18名 山形大学1、東北大学1、東京大学1、 東京工業大学1、静岡大学1、早稲田大学1、 慶應義塾大学1、東京理科大学1、京都大学1、 大阪大学1、神戸大学1、名古屋大学1、 岡山大学1、広島大学1、九州大学1、 関西大学1、同志社大学1、立命館大学1	6,480	2020年4月～ 2021年3月		
	新規 16名 <sup>*2</sup> 北海道大学1、東京大学1、静岡大学1、 早稲田大学1、慶應義塾大学1、東京理科大学1、 京都大学1、大阪大学1、神戸大学1、 名古屋大学1、岡山大学1、広島大学1、 九州大学1、関西大学1、同志社大学1、 立命館大学1	5,670	2020年4月～ 2021年3月		
	計 34名	12,150			
国内大学の国内 学生(学士課程) [3万円/月]	2020年編入学 2名 明石高専(東京大学)1、奈良高専(大阪大学)1	720	2020年4月～ 2021年3月		
	計 2名	720			
海外大学の 現地学生 [約5千円/月]	中国	蘇州大学	20名	約1,030	2021年2月
		中山大學	10名	約468	2020年8月
		武漢理工大學	10名	約468	2020年12月
		上海外國語大學	10名	約486	2020年11月
	タイ	泰日工業大學	20名	約1,135	2020年8月
		キングモンクット 工科大学	20名	約1,204	2020年11月
	ベトナム	ハノイ工科大学	20名	約950	2021年2月
	メキシコ	アグアスカリエンテス 自治大学	10名	約538	2021年2月
		アグアスカリエンテス 工科大学	10名	約538	2021年2月
	計	130名	約6,817		
合計	184名	約40,087			

<sup>\*1</sup>9月卒業により2名が途中で支給終了

<sup>\*2</sup>うち1名が途中で支給停止

(ハ) 学術・研究助成

自然科学・工学や社会科学の先進的、独創的な研究、資源・エネルギーの確保、地球環境保護、世界人口の増加と水食料不足、長寿高齢化社会の到来、経済格差の拡大等、現代の重要課題の解決に向けたテーマを対象としています。

特に新素材開発、情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）、ライフサイエンスをはじめとした産業のイノベーションが期待できる研究や、持続可能社会、循環型社会、省資源社会、超高度情報化社会の実現、長寿高齢化・介護社会の到来、経済のグローバル化などの社会ニーズに対応する研究に対し助成するもので、2020年度は、応募総数157件の中から選考の結果、20件、総額31,200千円の助成を行いました。

(氏名 50音順、敬称略、単位：千円)

氏名	所属	職位	研究テーマ	助成金額
入江 克雅	名古屋大学	助教	レアメタルイオン選択性を有するイオンチャネルの創製	1,300
植田 研二	名古屋大学	准教授	グラフェン/ダイヤモンド接合を用いた新規光イメージングメモリの作製	1,200
川村 淳浩	釧路工業高等専門学校	教授	植物工場向け燃焼式加温熱源からの排出ガスを光合成促進に利用するための安全技術開発	1,000
久保 由治	東京都立大学	教授	酸化チタンフリー水分散性光触媒による水素製造	1,450
呉羽 拓真	弘前大学	助教	架橋高分子材料をモデルとして活用した水中のプラスチック分解性評価技術の確立	2,000
坂井 貴臣	東京都立大学	教授	トラウマ記憶の消去法確立に向けた神経遺伝学的研究	2,000
佐々木 千鶴	徳島大学	准教授	食糧難回避を目指した食用昆虫を原料とした機能性食品原料の創製	950
志賀 敬次	東北大学	助教	化合物半導体の凝固現象に及ぼす極性の影響の解明	1,800
津田 雅貴	広島大学	助教(フェニックス)	DNA損傷の可視化を介した新規ゲノム修復機構の解明	1,600
道志 智	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所	主任研究員	ディーゼル微粒子状物質の高効率な捕集と燃焼を実現する革新的な触媒フィルターの提案	1,100
中内 大介	奈良先端科学技術大学院 大学	特任助教	異種カチオンによる半導体量子井戸構造制御を介した高速シンチレータの開発	2,000
中嶋 誠	大阪大学	准教授	光照射スピン流に基づいた金属磁性体ヘテロ構造からの広帯域テラヘルツ波光源の開発	1,750
藤澤 剛	北海道大学	准教授	ツイストフォトリック結晶ファイバ中の幾何位相によるトポロジカル光波発生	1,400
藤原 幸一	名古屋大学	准教授	心拍変動解析を活用したCOVID-19重症化予測AIの開発	1,350
松井 健	島根大学	特任講師	成熟型ヒト脳オルガノイドによる革新的脳梗塞モデルの確立	1,500
邑瀬 邦明	京都大学	教授	常温水和物融体を利用する高融点金属電析への挑戦	2,000
守屋 貴司	一般財団法人 アジア太平洋研究所	上席研究員	インド・アジアのデジタル人材等の育成・活用と国家と企業の政策に関する国際比較研究	1,100
山田 和彦	高知大学	准教授	超高感度化170MRIシステムを用いた認知症早期診断法開発	2,000
山本 玲	京都大学	特定拠点准教授	血液の加齢を模倣する試験管内再構成法の開発	2,000
渡部 昌	北海道大学	講師	健康寿命の延伸へ向けた筋委縮制御機構の解明	1,700

※研究者の所属・職位は、申請当時のもの

2. 役員・評議員（2021年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
理事長	井上 治	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井 良有	住友電気工業株式会社 専務取締役
理事	川井 文義	住友電装株式会社 代表取締役 執行役員社長
	西村 義明	住友理工株式会社 特別顧問
	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 名誉院長
	吉川 弘之	国立研究開発法人科学技術振興機構 特別顧問
監事	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
	小林 伸行	住友電気工業株式会社 常務取締役
評議員	小畑 英明	日新電機株式会社 代表取締役 会長
	坂崎 全男	住友電設株式会社 代表取締役社長
	新宮 壽人	株式会社テクノアソシエ 顧問
	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
	松本 正義	住友電気工業株式会社 取締役会長
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 顧問
	村田 治	関西学院大学 学長

### 3. 主要な事業経過

2020年	6月11日	第55回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度（第11期）事業報告及び計算書類等承認の件</li><li>・第11期定時評議員会招集の件</li><li>・第11期定時評議員会付議事項の件</li><li>・2020年度事業（奨学金支給）実施の件</li></ul>
	6月15日	第11期定時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度（第11期）事業報告及び計算書類等承認の件</li><li>・理事2名選任の件</li><li>・評議員3名選任の件</li></ul>
	6月29日	第56回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・役付役員選任の件</li><li>・2020年度選考委員選任の件</li></ul>
	7月15日	第57回臨時理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・事務局長選任の件</li></ul>
	7月16日	第1回選考委員会開催（Web会議） <ul style="list-style-type: none"><li>・申請書類閲覧及び選考方法確認の件</li></ul>
	9月24日	第2回選考委員会開催（集合・Web会議併用） <ul style="list-style-type: none"><li>・2020年度大学講座寄付先選考の件</li><li>・2020年度学術・研究助成先選考の件</li></ul>
	10月16日	第58回理事会開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・2020年度 大学講座寄付の対象者並びに寄付金額決定の件</li><li>・2020年度 学術・研究助成の対象者並びに助成金額決定の件</li><li>・2021年度 国内学生向け奨学金（高専推薦）対象者決定の件</li></ul>
2021年	3月5日	第59回理事会 <ul style="list-style-type: none"><li>・2021年度事業計画及び同収支予算承認の件</li><li>・2021年度事業（奨学金支給）実施の件</li></ul>
	6月1日	第60回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・第12期定時評議員会招集の件</li><li>・第12期定時評議員会付議事項の件</li></ul>